

富士見

平成30年度2号(通算26号) 平成30年11月30日

発行元：山梨県立富士見支援学校本校・旭分校

本校所在地：甲府市富士見一丁目1-1

TEL：055-252-3133 Fax：055-252-6167

E-mail：fujimiy@kai.ed.jp URL：http://www.fujimiykai.ed.jp

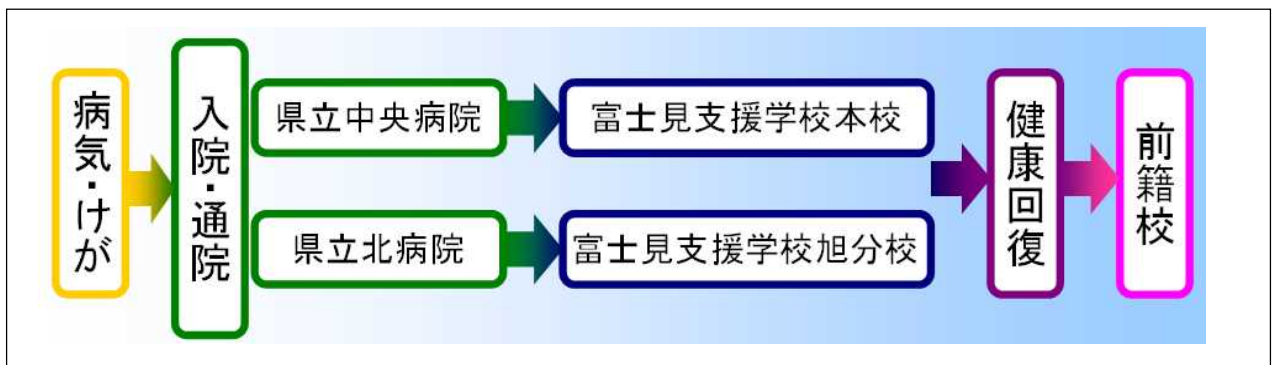
分校所在地：韮崎市旭町上條南割3314-13

TEL：0551-22-7144 Fax：0551-22-7143

E-mail：fujiasay@kai.ed.jp URL：http://www.fujiasaykai.ed.jp

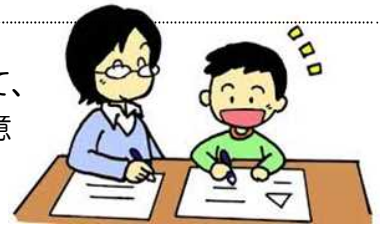


富士見支援学校のシステム



県立中央病院・北病院で入院・加療している児童生徒に対して、医師が本校での教育が望ましいと判断し、本人及び保護者の同意が得られた場合に、本校の教育を受けることができます。

本校での教育を受けるためには、基本的に転籍の手続きを行います。病状が回復し、もとの学校への通学が可能であるという医師の診断を受けた時点で、再び転籍する手続きを行います。児童生徒の在学期間が短期のケース等転籍を望まない場合には、在籍校からの依頼を受け、サポート学習指導を行う場合もあります。しかし、その場合、本校で指導を受けても、在籍校での出席として取り扱うことはできません。そのため、可能な限り転籍の措置をとるよう勧めています。なお、病気療養児に対しては、学習空白等が生じないように、学習が可能になった時点で教育を行うこと、手続きが完了する前でも教育を受けられるようにすること等が、国で認められています。



高校生こころのサポートルーム

「高校生こころのサポートルーム：通称ここサポ」では、山梨県の公立高等学校に在籍する高校生の、学校生活で生じる様々な問題についてサポートしています。相談担当教員や配置されている心理士が、生徒や保護者の悩みや「困った感」、状態をうかがう中で、在籍する高等学校と連携しながら、学校生活を安心して送れるような方法を一緒に考えます。





本校の紹介



深沢教頭のことば

10月20日の土曜日に、今年も学園祭「クローバー祭」が盛大に行われました。小学3年生と小学6年生によるくす玉割りが行われ、皆で作成した看板のお披露目からスタートしました。6月から実行委員会で準備をはじめ、小学生と中学生が意見を出し合い協力して、FUJIフェス（器楽演奏）や、模擬店、O×クイズ大会など保護者も参加して大いに盛り上がりました。小学生と中学生が仲良く取り組んでいる様子は微笑ましいものがあります。本校は中央病院に通院及び入院加療中の児童生徒が通ってくる学校です。入院加療中の児童生徒は、ベッドサイド授業や教室に登校しての授業など病状に配慮した授業を行っています。通院生も入院加療中の児童生徒も前籍校にスムーズに戻れるよう、それぞれの学校で使用している教科書を使って学習しています。学部毎や全校での様々な学校行事を通して集団での活動も体験し、社会の中で人と関わりながらよりよく生きていける力が身につく事を願い、今日も日々の学習に励んでいます。



◇ 授業の様子 ◇

児童生徒一人一人に合わせた指導計画を作成し授業を行っています。特に主要5教科の学習は、各自の学習空白の状況等に配慮し必要に応じて個別指導をしています。その他の学習は、集団授業を基本として行っています。心身共に健康な状態を保ち、積極的に社会参加できる児童生徒の育成を目指し、様々な活動に取り組んでいます。



♣ 今年度の行事から ♣

〈秋の校外学習〉

9月14日、桔梗屋一宮工場に行ってきました。今年は、バス、電車、タクシーを乗り継いでいきました。現在では一日に12万個も製造されるという桔梗信玄餅ですが、最後は、熟練した職人さんたちの手で一つ一つビニール風呂敷に包まれる工程を目の当たりにし、郷土の産業の底力を感じた今年の校外学習でした。

帰りに石和温泉駅前の「あしゆ」で一息ついてきました。秋の充実した一日を過ごすことができました。



〈学園祭「クローバー祭」〉

今年度は、『FUJIフェス』『O×クイズ大会』という新企画が打ち出され、小中学部が協力し、準備や練習に取り組みました。両企画共に来校者を巻き込み楽しむことができました。児童生徒は、緊張しながらも多くの人々の前で見事な演奏を披露しました。この達成感や自信を、今後の活動につなげていきたいと思えます。



〈外部講師を招いて〉

いきいき教育地域人材活用推進事業の一環で、外部講師を招いて年2回学習を行っています。今年度の1回目には『ヨガ体験』を行いました。ヨガスクールのインストラクターの方を講師に、ヨガを用いたレクリエーション的活動や基本的なヨガの動作を体験しました。基本ポーズを使った「だるまさんがころんだ」は大盛り上がりでした！心地よい脱力感に包まれ、心身共にリラックスできました。





旭分校の紹介



阿部副校長のことば

旭分校では心身症や環境的要因により、学習や生活に支障をきたしている子どもたちのために県立北病院と緊密な連携を図りながら、子どもたちの教育的ニーズに応じた指導や支援を行っています。

「勉強が遅れていて心配だ。」「早く前籍校に戻りたいけど、みんなが受け入れてくれるかな?」「給食を時間内に食べられるかな。」などなど、子どもたちの不安と緊張は様々です。そんな子どもたちに自然な笑顔と自信を取り戻させると共に、前籍校へのスムーズな復帰に向け、一歩踏み出す勇気を与えることが、旭分校の役割だと考えています。子どもたちにとっては、毎日の学校生活は小さな冒険。緊張しながらも、ささやかな成功体験の積み重ねと周囲からのがんばりを認めてもらえる称賛の言葉かけが、子どもの意欲と自信を大きく膨らませていきます。



<音楽>



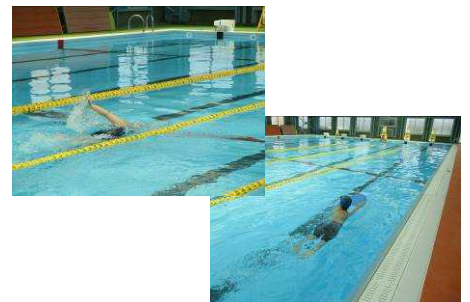
空き缶笛やストロー笛を作り、エアリードの仕組みを学習しました。試行錯誤する中で音が出たり、音色が変わったりすると、驚きと発見がありました。その後挑戦した篠笛では、最初は戸惑いましたが、繰り返すうちにコツをつかみ、みんなで一緒に演奏することができました。

<技術>



技術の時間には、ミニすのこやセロハンテープカッターを作りました。工具を使うことが初めての人や得意な人もいましたが、みなさん説明をしっかりと聞き、自分なりの作品を作ることができました。

<体育>



体育の授業の一環で水泳教室を2回開催しました。場所は白根B&G海洋センターです。プールサイドでしっかりと準備体操をして、それぞれ立てた個人目標に向かって挑戦しました。参加した生徒たち全員に上達が見られました。

◇ 社会福祉村まつり ◇ 10月13日(土) あげぼの医療福祉センター交流の庭

今年は晴天に恵まれ、気持ちの良い秋空の下でお祭りが行われました。旭分校の模擬店は『ヨーヨー☆くじ(おみくじつき)』。事前準備では、係に分かれて看板をやレジを作ったり、カプセルにくじを詰めたりしました。前日には、100個のヨーヨーをびしょ濡れになりながら作りました。今年はいくじをパワーアップさせ、おみくじ付きにし、元気が出るような一言を添えました。お客さんがたくさん来てくれて、みごと完売。それぞれの役割をしっかりと果たすことができました。



自由時間には、児童生徒みんなで他の模擬店をまわり、うどんや地鶏、フランクフルトなど、思い思いの昼食をとり、お祭りを楽しみました。充実した1日を過ごすことができました。

◇ ダンス ◇ ～いきいき教育地域人材活用推進事業～



元県立学校教諭であった長瀬節子先生に来ていただきダンスに取り組みました。安全性を考慮して座りながらの身体ほぐしを行い、その後の活動に十分な準備体操から、基本的で簡単なステップをいくつかご指導していただきました。ステップを習っていくと、児童生徒自身も緊張がほぐれて、曲と合わせて活動できました。曲が流れる中で、オリジナリティのある創作的なダンスも取り入れ、講師からもお褒めの言葉をもらいました。活動を終えてからも児童生徒と先生方とでダンスについて会話を楽しみました。

富士見は支援します…！

病気や障害のある子どもたちが、いきいきとした学校生活を送るための指導や援助について、子どもたち本人・保護者・教職員の方々のために相談や情報提供を行います。お気軽にご相談ください。相談の内容についての秘密は厳守いたします。



教育的なニーズを持つお子さんのための教育相談

- ◆教室で落ち着かない
 - ◆頭痛や腹痛で学校に行けない
 - ◆病気やけがで学校に行けない
 - ◆友達とうまくコミュニケーションがとれない
 - ◆学習意欲がでない
- …etc

子どもへの支援のための相談・各関係機関との連携

- ◆訪問支援・巡回相談による指導のアドバイス
- ◆特別支援教育に関する研修会の企画・開催
- ◆「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」作成のアドバイス
- ◆関係機関の紹介

来校相談

電話相談

学校見学



富士見支援学校 本校	連	富士見支援学校 旭分校
住所 甲府市富士見1丁目1-1	絡	住所 韮崎市旭町上条南割3314-13
電話 055-252-3133	先	電話 0551-22-7144
メール soudan@fujimiy.kai.ed.jp		メール fujiasay@kai.ed.jp
URL http://www.kai.ed.jp/fujimi/		URL http://www.kai.ed.jp/fujiasay/

